

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年4月2日(2015.4.2)

【公開番号】特開2012-212121(P2012-212121A)

【公開日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-045

【出願番号】特願2012-49109(P2012-49109)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30 (2006.01)

G 02 F 1/1335 (2006.01)

B 32 B 27/36 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/30  
G 02 F 1/1335 5 1 0  
B 32 B 27/36

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月13日(2015.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

光拡散層を有する偏光子保護フィルムであって、

反射画像鮮明度測定試験における反射画像鮮明度  $C_n$  (%) の総和値  $R_c$  (%) が以下の式(1)の関係を満たし、かつ全ヘイズ値  $H$  (%) が以下の式(2)の関係を満たし、

前記反射画像鮮明度測定試験は、試験片からの反射光の光量を、反射光の光線軸に直交し、速度 10 mm/min で移動する幅  $n$  (mm) の光学くしを通して測定するものであり、

前記反射画像鮮明度  $C_n$  (%) は、前記反射画像鮮明度測定試験において光線軸上に前記光学くしの透過部分があるときの反射光量の最高値を  $M_n$  、光線軸上に前記光学くしの遮光部分があるときの反射光量の最小値を  $m_n$  とした場合に、下記の式(3)で算出され、

前記総和値  $R_c$  は、前記光学くしの幅  $n$  (mm) が、それぞれ 0.5、1、2 である場合の反射画像鮮明度  $C_{0.5}$ 、 $C_1$ 、 $C_2$  の総和値である、偏光子保護フィルム。

0 R<sub>c</sub> 170 式(1)

0 H 6 式(2)

$C_n = \{ (M_n - m_n) / (M_n + m_n) \} \times 100$  式(3)